



NRO ORGANIZATION

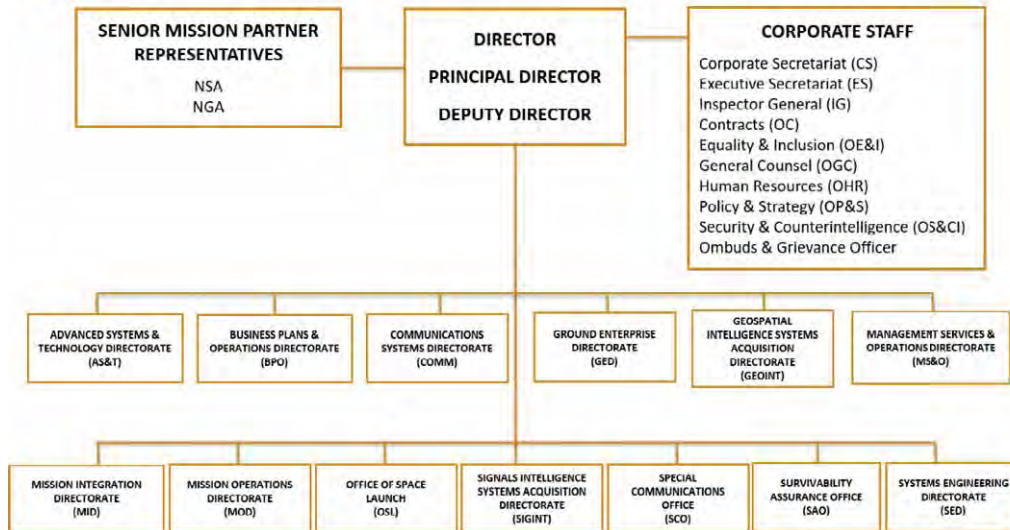


図5-2 NRO の体制図

5.2. 国家地理空間情報局（NGA）の役割⁴⁰⁵

国家地理空間情報局（National Geospatial-Intelligence Agency ; NGA）は、世界クラスの地理空間情報を提供し、政策立案者、軍事関係者、情報活動専門家、及び一次対応者に決定的な利点を提供する。それにより、米国政府の船舶を航行し、米国政府の航空機を操縦し、国家政策の決定を下し、戦争を戦い、標的を特定し、自然災害に対応し、更には携帯電話でナビゲートする全ての人々は、NGA に依存している。

NGA は、地理空間情報（GEOINT）の不可欠な分野を通じて、世界に影響を与えるこれら全ての重要な行動と意思決定の形成を可能にする。NGA は、情報機関と戦闘支援機関のユニークな組み合わせである。タイムリーに関連性が高く、正確で実用的な GEOINT の世界的リーダーである。

NGA により、米国の情報機関と国防総省（DOD）は、国家を保護するという大統領の国家安全保障上の優先事項を満たすことができる。NGA はまた、パートナーの将来のニーズを予測し、それらを満たすために GEOINT 分野を発展させる。



図5-3 国家地理空間情報局

NGA は GEOINT の主要な連邦政府機関であり、400 組織を超える商用及び政府関係のグローバルコンソーシアムを管理している。NGA 長官は、GEOINT の機能マネージャ、国家地理空間情報システム（NSG）の責任者、及び 全地球規模同盟国地理空間情報システム（ASG）の調整官を務めている。この立場で、NGA 長官は、専門的で相互運用性があり、アジャイルに統合した GEOINT エンタープライズを実現するための 運用の同期を担当する。NGA は、国防総省、国家情報長官（DNI）、及び議会から指導と監督を受けている。

NGA はバージニア州スプリングフィールド市に本部（東部キャンパス）を置き、ミズーリ州セントルイス市（西部キャンパス）と アーノルド市に 2 カ所の主要な拠点を有する。約 14,500 名の 文民、軍人、請負業者の従業員が、米国内の 100 ヶ所以上と 海外の 20 ヶ所以上で勤務している。

また何百名もの NGA の職員が、世界中の米軍、外交、同盟国の拠点でサポートチームに勤務している。

5.2.1. NGA のミッション

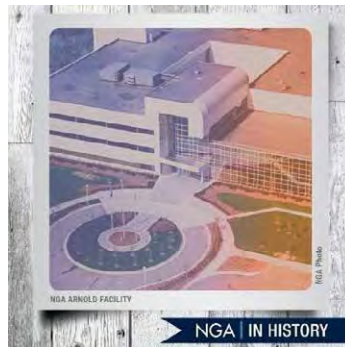
- 1 NGA は、大統領及び国家の政策立案者がテロ対策、大量破壊兵器、世界的な政治危機などについて重要な決定を下せるようにする戦略的情報を提供する。
- 2 NGA は、戦闘員が任務を計画し、戦場での優位性を獲得し、敵を正確に標的にし、米国の 軍隊を保護することを可能にする。
- 3 NGA は、差し迫った脅威を監視、分析、報告することにより、戦闘員及び国家の意思決定者にタイムリーな警告を提供する。
- 4 NGA は、テロ対策、麻薬対策、国境と輸送のセキュリティを支援することで、祖国を

⁴⁰⁵ https://www.nga.mil/about/About_Us.html

保護している。NGA は、大統領就任式、外国指導者による公式訪問、国際会議、主要な公開イベント（オリンピック、スーパーボウル、衛星打上げなど）などの特別なイベントのセキュリティ計画をサポートする。

- 5 NGA は、米軍と世界の輸送ネットワークのために最新の情報と最高品質のサービスを維持することにより、空と海での航行の安全を確保する。
- 6 NGA は、サイバーネットワークの詳細な分析で他の諜報機関をサポートすることにより、サイバー脅威から国家を守る。
- 7 NGA は、他のすべてのミッションを可能にする地理空間基盤データ、知識、及び分析を作成及び維持する。
- 8 NGA は、火災、洪水、地震、地滑り、ハリケーン、その他の自然災害または人災に対応する主要な連邦機関と直接協力することにより、人道的および災害救援活動を支援する。

(注) NGA は、最近では組織体制表を公開していないため省略する。



5.2.2. NGA のコミュニティ形成（セントルイス市）

T-REX⁴⁰⁶

T-REX は、高品質なプログラム、共同コミュニティ、低コストで柔軟なエンタープライズ（事業機会）の場を提供する非営利のイノベーション、起業家、労働力開発組織である。

T-REX は、約 200 社の企業とイノベーション支援組織の本拠地であり、NGA の誇り高いパートナーである。現在迄に、T-REX エンタープライズは、セントルイス地域で 5,000 名を超える新たな雇用を創出している。セントルイスの経済発展に貢献する技術開発を進め、設計を通じて創造的思考を促し、高度なスキルを持つ労働者を雇用する新興企業を募集・育成することにより、地域経済の活力を高める。この目標は、T-REX の寄付者ネットワークの寛大な支援がなければ実現できない。T-REX の使命は、次の方法でセントルイスの新興企業コミュニティを育成することである。

◇ 提供する

起業家がリスクを軽減し、資本コストと運用コストを削減し、初期の成功を支援できるようにする施設を起業家に提供します。

◇ 創出する

起業家精神、イノベーション、ビジネスの創造性を促進するプログラムを創出し、歓迎する。

◇ 加速する

アクセラレータ、メンター、大学、ビジネスリソース、及び政府支援プログラムを初期段階にある企業に近接する。

T-REX 地理空間イノベーションセンター

T-REX は、地理空間の革新、技術の商業化、及び労働力開発に特化した、国内初の最先端の研究およびコラボレーションセンターを開発した。新興企業、研究者、政府パートナー、及び支援する部門の指導者達は、アクティブな学習教室、最先端のインタラクティブ及びリモート技

⁴⁰⁶ <https://downtowntrex.org/>

術、広々とした世界クラスのオフィススペースの雰囲気の中で、協力してリソースを共有できる。

T-REX の 4 階にある 16,000 平方フィートの革新的なコラボレーションの場は、位置情報技術の新興企業、研究者、政府パートナー、支援するセクターのリーダーでにぎわい、T-REX の地理空間産業クラスターを結び付ける。

セントルイスの地理空間革命は T-REX で始まる。地理空間の世界は、間違いなくミズーリ州セントルイスに引き寄せられている。偶然では無い。セントルイス地域には、世界的に有名な研究大学、フォーチュン 500 企業、数十の既存の地理空間組織、そしてもちろん、国家地理空間情報局 (NGA) の建設中の約 20 億ドルの西部キャンパス (本部) がある。セントルイス地域の歴史の中で最大の連邦投資である。

T-REX 内の NGA ムーンショット・ラボ (Moonshot Labs)

T-REX の新しい地理空間イノベーションセンターに加えて、国家地理空間情報局 (NGA) は、T-REX 内に独自の新しい地理空間技術ラボを開設した。ムーンショット・ラボ (Moonshot Labs) は、T-REX と協力して、この地域の NGA、産業界、学界の間の取り組みを進めている。ムーンショット・ラボは、NGA の専門家がコミュニティの同僚と直接協力して、米国の困難な問題を解決できる NGA 初の非秘匿区分イノベーションスペースである。ムーンショット・ラボは、2021 年 7 月 23 日に正式に開設した。

ムーンショット・ラボは、NGA、そのパートナー、顧客が出会い、創造し、協力し、革新するための非秘匿区分のイノベーションのハブであり、衝突型加速器 (コライダー: collider) の機能を有する場所である。ムーンショット・ラボは、成功と説明責任を測定するためのイニシアチブアプローチを備えた機関横断型の資産である。ムーンショット・ラボは、2025 年の開設時に NGA の西部キャンパスに導入される前例のないコラボレーション環境のプレビューを提供する。



T-REX 内のハリス・ストウ (Harris-Stowe) 州立大学の地理空間ハブ

セントルイス地域の高等教育需要に取り組む、ハリス・ストウ州立大学は 2021 年 7 月 14 日に、地理空間技術業界内での学術的機会の促進とキャリア開発イニシアチブに焦点を当てた新しいサテライトロケーションを発表した。

セントルイスのダウンタウンにある T-REX イノベーションセンターを拠点とするジオ・ホーネット・ラボ (GeoHornet Lab) は、学生に地球科学技術を紹介し、政府や企業パートナーとの関係を構築し、この急速に成長している分野で労働力の道筋を築くものである。T-REX の新しいラボは、ハリス・ストウ (Harris-Stowe) 州立大学と国家地理空間情報局 (NGA) の間の教育パートナーシップ合意に基づく活動項目のオペレーションセンターとして機能する。ハリス・ストウ州立大学の学生と教員、及び NGA の科学者と専門家の両方が、現代の都市、近隣、及びそれらの物理的な文化的社会環境の現実世界の実際的な問題を解決するために設計した革新的な STEM 教育イニシアチブに協力できるようにするものである。

ラボは、マクサー社 (Maxar) などの近くの企業パートナーとの協力も継続し、学生を専門的

なマッピングプロジェクトに参加させる。このようなコラボレーションは既に影響を与えている。ハリス・ストウ州立大学は、T-REX において 2021 年の初めにマクサー社と NGA の両方が参加して GeoHornet マパソン（マッピングイベント）を開始した。これは、一連の ジオ・ホーネット・ラボ（GeoHornet Lab）のマッピング作業の最初の試みである。実際、NGA は、ハリス・ストウ州立大学の新しいジオ・ホーネット・ラボ（GeoHornet Lab）に直接隣接して、T-REX 内に独自の地理空間技術ラボを設立する予定である。NGA の ムーンショット・ラボ（Moonshot Labs）も 2021 年の夏にオープンし、これらの組織間の包括的な参加がさらに容易になる。



5.2.3. コーテックス（CORTEX⁴⁰⁷）

2021 年 1 月 13 日に T-REX と コーテックス（Cortex）は、ジオ・フューチャーズ（GeoFutures）〔地域経済開発組織「Greater St. Louis, Inc.」の取り組みである GeoFutures は、2019 年 10 月に開設した。セントルイス地域で急速に成長している地理空間分野を強化し、将来の戦略計画を策定している。この取り組みは、地域の公共、ビジネス、市民、学術部門の 30 名近くのリーダーからなる広範で多様なグループを特徴とする諮問委員会が導入した。〕と提携して、地理空間イノベーションに焦点を当てた全国的な講演者シリーズを立ち上げ、セントルイスの急成長中の地理空間エコシステムに毎月スポットライトを当てることを発表した。

2002 年に設立した Cortex は 501 (c) (3) に基づく非営利団体で、ミズーリ州セントルイス市にあるイノベーションと起業家精神の 200 エーカーの都市ハブであるコーテックス・イノベーション・コミュニティの開発を監督している。ワシントン大学セントルイス校、セントルイス大学、ミズーリ 大学セントルイス校、BJC ヘルスケア、ミズーリ植物園が設立したこの地域最大のイノベーション キャンパスの 1 つは、高成長を加速するために物理的に設計し、積極的に管理している。新興 企業と確立された革新的な企業を前進させます。Cortex は、すべての技術分野をサポートする、国内及び国際的に認められたイノベーションハブである。

Cortex では、起業家精神は個人の権限委譲への道であると信じており、事業と、それらを創生し、働き、アクセスする人々が支援を受ける場所を作るよう努めている。Cortex は、セントルイス地域を世界的に競争力のあるものにするために、この作業を行っている。コーテックス・イノベーション・コミュニティは、セントルイス市のセントラル・ウエスト・エンドと南東森林公園地区の間に位置し、全国的にランク付けされた大学と医療センターに囲まれている。Cortex は、グランド・センター アーツ地区、フォレスト・パセントラルウエストエンド、ザ・グローブなど、文化財、歴史地区、公共スペースのネットワークの中で成長している。Cortex は、セントルイス地域の包括的な経済エンジンとして機能する活気に満ちたイノベーションコミュニティである。Cortex は、高品質の施設を活用し、知識とネットワークを構築するプログラム製品のポートフォリオを開発し、新興企業と既存企業を引き付けてサポートする一連の戦略的パートナーシップを招集することにより、公平な経済的影響を生み出す。

⁴⁰⁷ <https://www.cortexstl.org/visit-cortex/>